

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題

シェーグレン症候群の末梢神経障害に関する研究

代表施設研究責任者

公文義雄

研究の背景

シェーグレン症候群（Sjögren 症候群：SS）は、有痛性ニューロパチー（painful sensory neuropathy; SS-PSN）を含む末梢神経障害を高頻度に合併します。SS-PSN の診断は神経画像評価や表皮内神経線維密度（IENFD）の測定が有用であり、病態と治療反応性のバイオマーカーとして期待されています。

研究の目的

本研究は、SS-PSN 患者の診断と病態評価における末梢神経画像、および IENFD 測定の有用性を検討することを目的とします。

研究方法

厚生労働省改訂診断基準もしくは2016年ACR-EULAR分類基準を満たし、四肢、体幹の神経障害性疼痛をお持ちのSS患者様のうち、末梢神経エコー検査および下肢の皮膚生検を施行した方が対象となります。症状や画像検査所見、生検結果および治療効果などについて調査を行います。研究にご協力いただいた個人が特定されるような情報は完全に匿名化され、厳重に保護され、外部に出ることはありません。ご協力によって得られた研究成果は、提供者本人の氏名やプライバシーが明らかにならないようにしたうえで、学会や学術雑誌およびデータベース等で発表されることがあります。研究のより詳しい内容をお知りになりたい場合は、担当研究者もしくは外来担当医師までお申しつけください。

*本研究の対象になられる方で、ご自身のデータ利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。ただし、すでに学会誌やデータベースへ発表された内容については、取り下げることは原則困難となります。

問い合わせ先

近森病院

担当者： リウマチ膠原病内科 吉田剛

住所 〒780-8522 高知県高知市大川筋 1-1-16

電話 088-822-5231